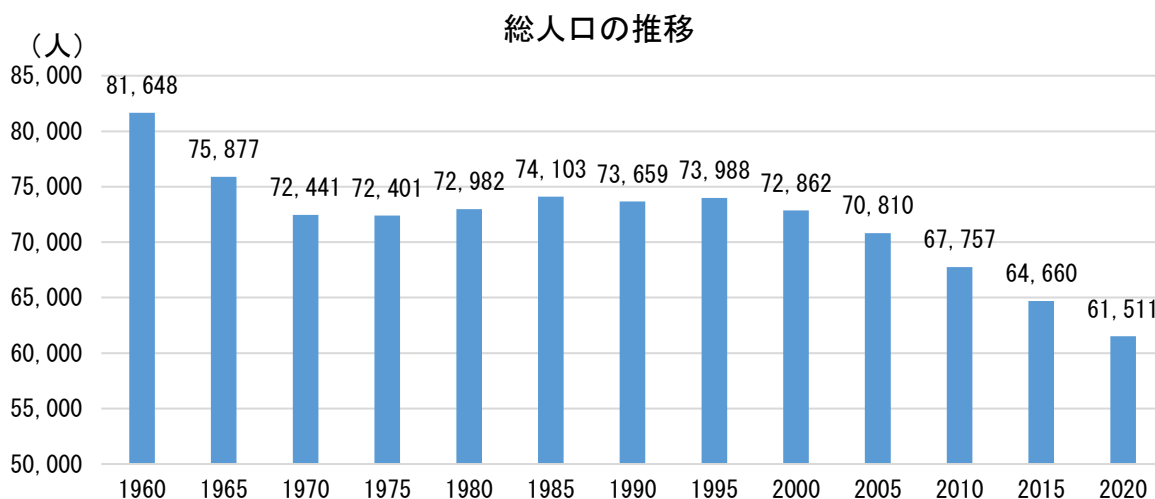


丹波市の人口動態について

1 総人口

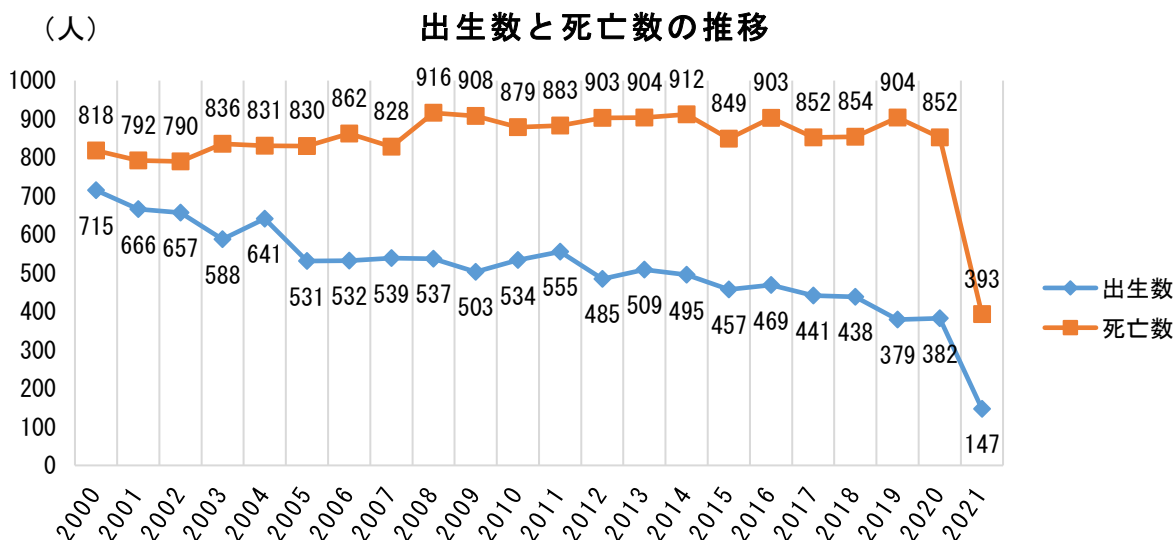
- ・高度経済成長期（1960年代～1970年代）には都市部への人口流出があり、総人口が減少した。
- ・1970年～1995年はほぼ横ばいで推移し、1995年をピークに減少を続けている。
- ・2020年の国勢調査の速報値の結果では61,511人と、6万人を維持したものの、2005年以降、5年毎の調査で毎回3,000人以上の人口が減少している。
- ・2020年3月に策定している丹波市人口ビジョンでの2020年の推計値は61,509人、将来目標人口は61,573人であり、2020年の国勢調査速報値の結果は目標人口に届かなかった。
- ・今後も減少し続けることが予測され、2060年には34,660人となり、2020年と比較して、43.7%減少すると推計される。



出典：国勢調査

2 出生数・死亡数の推移

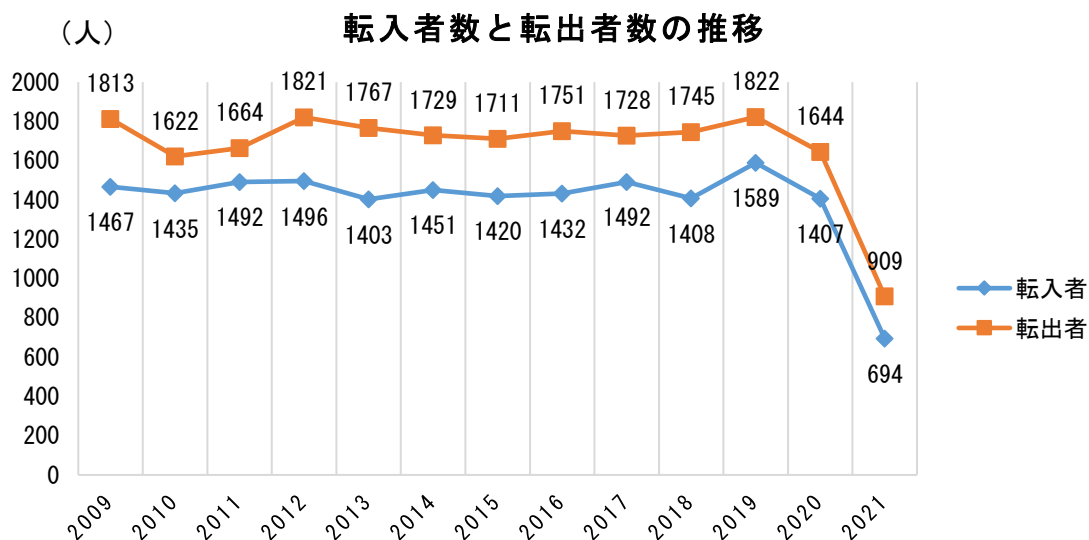
- ・出生数は2011年までは500人台を維持していたが、以降は2013年に500人台に回復したものの、減少を続けている。
- ・2019年、2020年は300人台まで減少している。2021年は1月から5月までの出生数が147人であり、2021年はさらに減少することが予想される。
- ・死亡数は近年は横ばい傾向が続いている。



出典：2000-2020 県保健統計年報、2021 丹波市住民基本台帳（1月～5月）

3 転入者数・転出者数の推移

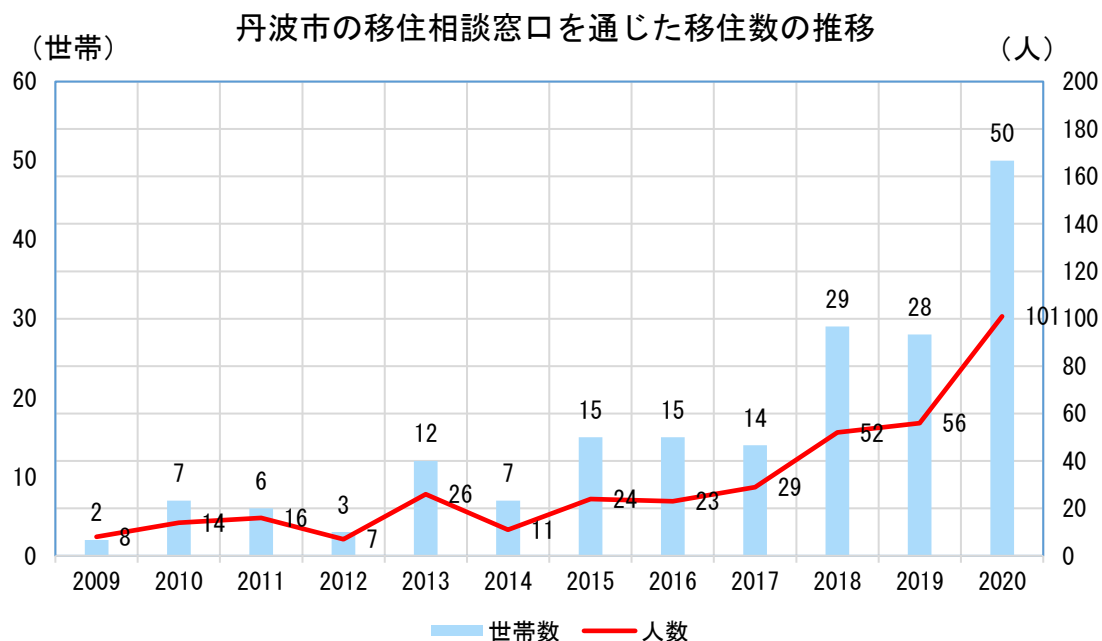
・転入者数・転出者数ともに近年は横ばい傾向にあるが、転出超過の状態が続いている。



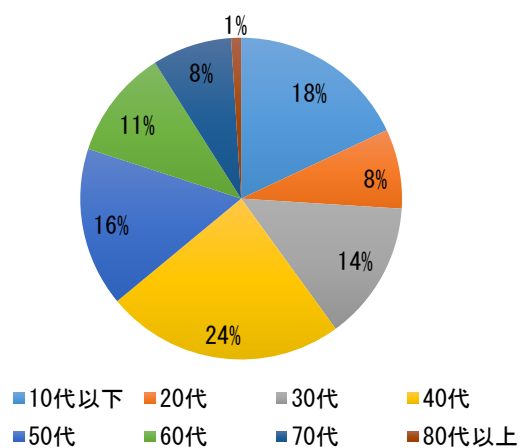
出典：2009～2020 兵庫県の人口の動き、2021 丹波市住民基本台帳（1月～5月）

4 移住の状況

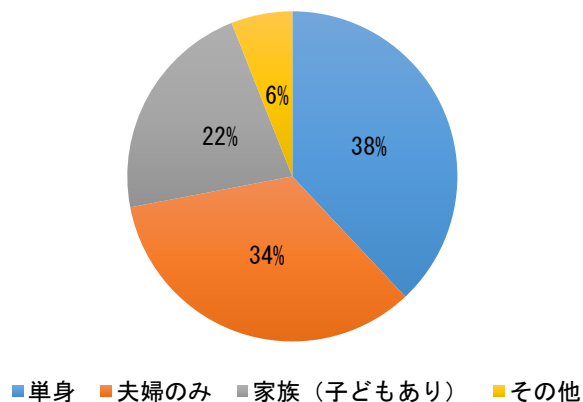
- ・移住・定住促進に取り組んで以降、移住相談件数・移住実績ともに順調に増加している。
- ・コロナ禍で地方移住への関心が高まっており、2020年度は前年比55%増と過去最多となった。
- ・総合戦略の政策ターゲットは10代～30代としているが、移住者を世代別に見ると、40代～50代の割合が大きくなっている。
- ・移住者の家族構成は、単身・夫婦のみが全体の72%を占めている。
- ・2020年度の調査では、相談者の年齢層が高くなっている一方で、子育て世代からの相談は減少している。



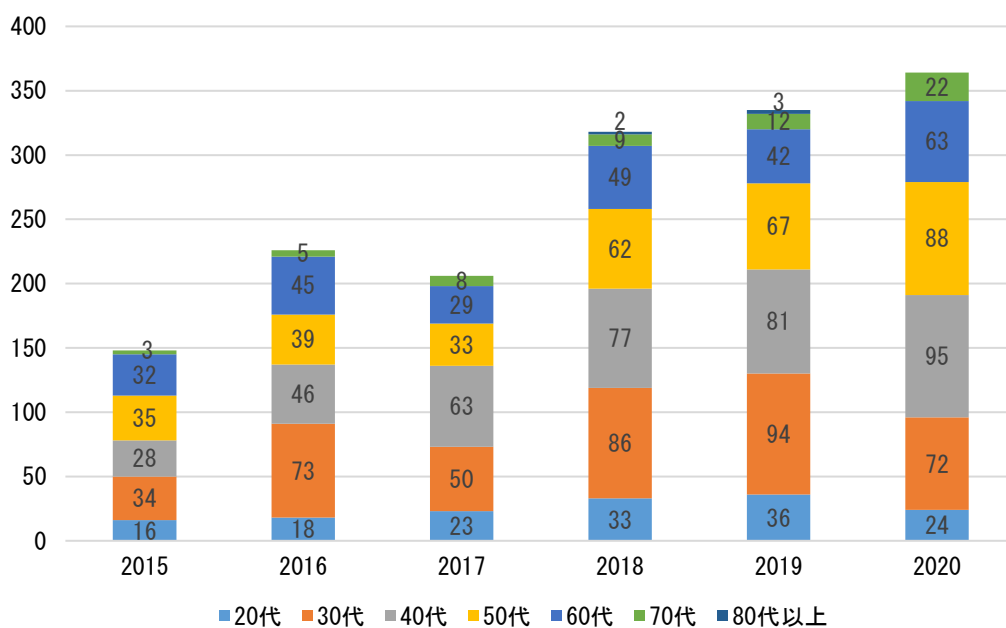
2020年度 移住者の世代割合



2020年度 移住者の家族構成



移住相談 年代別推移



2017 年齢不明 40 人
 2018 年齢不明 63 人
 2019 年齢不明 28 人
 2020 年齢不明 5 人、10代が1人